

平成 19 年 4 月 12 日

高知県中央漁業指導所
高知県水産試験場 増養殖環境部

件名： 4 月 1 2 日の野見湾プランクトン調査について

【注意！！！！！！】

コクロディニウム・ポリクリコイデスが、最高 6 3 8 cells/ml 出現しました。

湾奥から湾中央にかけて密度が高くなっています。

本種は、他のプランクトンよりも比較的低い密度で影響があります。

(例えばカレニア・ミキモトイでは数千 cells/ml 程度が危険密度)

目安として、4 0 0 cells/ml 程度で養殖魚に被害が発生するとされていますが、より低い密度でも警戒が必要です。

このため、海面が着色していなくても被害が発生することがあります。

また、今後、さらに増殖する恐れもあります。

(2004 年 4 月に、野見湾で本種の赤潮が発生した際には、最高 5, 180 cells/ml が記録されています)

餌止めをするなど、養殖魚の管理には十分に注意してください。

なお、今回は有害種のみ計数しましたので、珪藻類などは計数していません。

1)調査結果

	観測層	クロロデニ ウム・ポリクリ コイデス
	(m)	(cells/ml)
A 大谷 港内	0	102
	2	94
② 湾奥ブイ	0	386
	2	334
B 大室戸	0	188
	2	400
	5	64
③ 馬の背 1番口	0	9
	2	17
	5	64
③ 馬の背 3番口	0	488
	2	638
④ ガラク 1番口	0	0
	2	0
	5	0
④ ガラク 3番口	0	0
	2	0
	5	0
D 白浜	0	5
	2	5
	5	20
E 防波堤 外側	0	2
	2	4
	5	7

